

## ■ご利用の皆様へ

### 埼玉会館 非常時の対応と避難誘導について

---

当館ホールのご利用においては、火災・地震、非常事態などの災害が発生した場合、入場者の安全を確保し、避難誘導を行っていただくなど、主催者各位のご理解とご協力が不可欠となります。

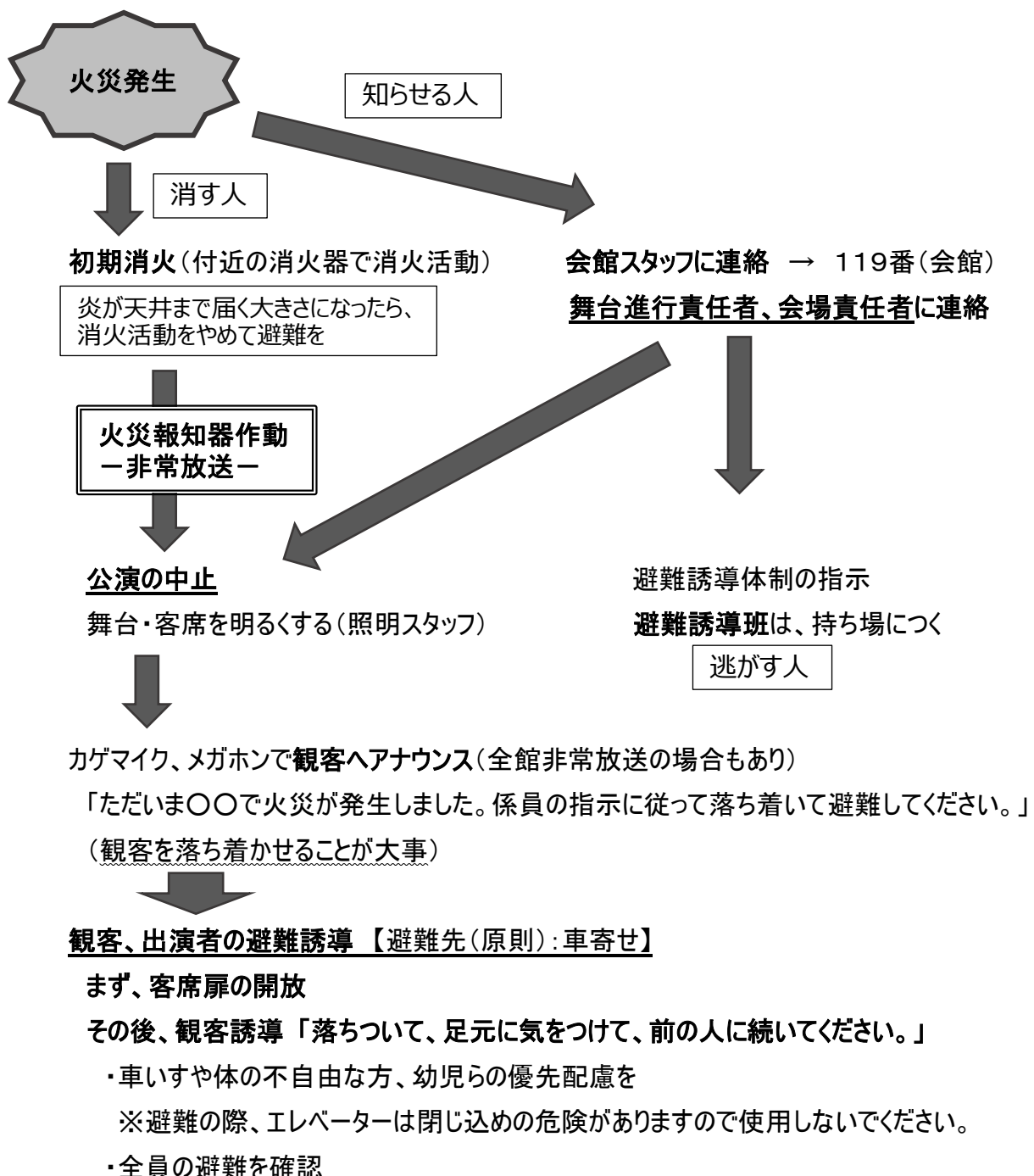
については、本資料をよくお読みいただき、避難誘導計画書をご提出くださいますようお願いいたします。

※ 係の方は、事前に避難経路、避難場所のご確認をお願いいたします。

## ■火災発生時の対応

---

### 【 利用ホール内で火災を発見したら 】



## 【 館内他施設で火災が発生したら 】

火災報知器作動  
—非常放送—

### 火災発生を知らせる全館放送

「ただいま〇〇で火災が発生しました。係員の指示に従って落ち着いて避難してください。」

#### 舞台進行責任者・会場責任者



#### 公演の中止

舞台・客席を明るくする(照明スタッフ)



カゲマイク、メガホンで観客へアナウンス(全館非常放送の場合もあり)

「ただいま〇〇で火災が発生しました。係員の指示に従って落ち着いて避難してください。」

(観客を落ち着かせることが大事)



#### 観客、出演者の避難誘導【避難先(原則):車寄せ】

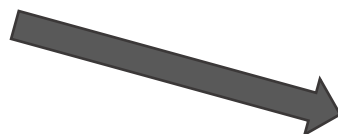
まず、客席扉の開放

その後、観客誘導「落ち着いて、足元に気をつけて、前の人に続いてください。」

・車いすや体の不自由な方、幼児らの優先配慮を

※避難の際、エレベーターは閉じ込めの危険がありますので使用しないでください。

・全員の避難を確認



避難誘導體制の指示

避難誘導班は、持ち場につく

逃がす人

## ■地震発生時の対応

埼玉会館は、法令に基づく耐震基準を満たしており、十分な耐震性を備えています。

大きな揺れが発生した場合でも、慌てて避難せず(急な屋外避難は、かえって危険な場合もあります)、会館や係員の指示に従って行動するようお願いします。

### A. 揺れが小さい場合[概ね震度2以下]

- ・舞台の進行が止まっていない場合、そのまま様子を見ながら継続

### B. 揺れが比較的大きい場合～会館内外とも被害がない場合～[概ね震度3～4]

- ・舞台の進行が止まる
- ・舞台・客席を明るくする
- ・舞台上の出演者は、舞台袖へ避難
- ・観客は客席待機
- ・揺れが収まったら、地震の発生と施設の被害状況確認中のアナウンス(主催者)

ただいま地震が発生しました。現在、施設・設備に異常がないか確認を行っております。  
そのままお席でお待ちください。

- ・公演の中止、再開について協議
- ・会館からの被害状況の連絡を受け、被害がなければ、公演再開(主催者アナウンス)

お知らせいたします。  
施設・設備に異常なしとの確認が取れましたので、ただいまより公演を再開いたします。」

### C. 揺れが非常に大きい場合[震度5弱以上]

- ・舞台の進行が止まる
- ・舞台・客席を明るくする
- ・舞台上の出演者は、舞台袖へ避難
- ・観客は客席待機、出演者は楽屋待機
- ・揺れが収まったら、地震の発生と施設の被害状況確認中のアナウンス(全館放送の場合あり)  
「ただいま地震が発生しました。現在、施設・設備に異常がないか確認を行っております。  
そのままお席でお待ちください。」
- ・出演者、観客にけが人がいないか確認  
けが人がいた場合は、救護対応(動ける場合は救護可能な場所へ移動して手当)
- ・会館側と会館内外の被害状況について確認、情報を共有  
→ 今後の方針について協議(公演の中止、チケットの取扱い、避難先、帰宅困難者対応など)
- ・観客等に施設の被害状況、交通機関の情報提供等を行う
- ・公演の延期や中止の場合、必要な情報を観客にアナウンス  
そのほか、会館の指示に従って案内、避難等を行う